



ぬりんちゅ つうしん

# 塗人通信

☆トーシンリフォームがお客様に贈る 新感覚のニュースレター☆

## 激旨ランチ 食べある日記 バブルオーバー

閑静な住宅街に佇む、オールドアメリカなレストラン「バブルオーバー」を紹介します。

店内はにぎやかで楽しいげな雰囲気、店員さんは元気いっぱいの接客。まさにアメリカな雰囲気です。

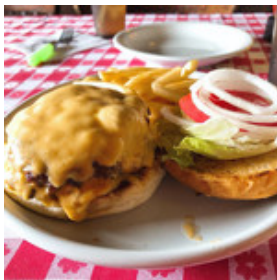
料理は店のイメージを裏切らないガッツリ系！やはりハンバーガーがお勧めですが、私のお気に入りにはダブルチーズバーガーです。

ディナーで食べても満腹になるくらいの量で「ガッツリ肉を食べた〜！」という位の満足感です。

じつはこのお店は、塗装工事をさせて頂いたお客様に教えて頂いたお店なんです。

素敵なお店をご紹介いただきまして、ありがとうございました！

地元では有名なお店らしく、芸能人も良く来店するみたいですよ。



**住所** 横浜市青葉区市ヶ尾町540-1  
**電話** 045-972-2424  
**ランチ予算** 1000円～2000円  
**おすすめメニュー** ダブルチーズバーガー

## 古書探究

菜根譚 著・洪自誠

400年前に中国の洪自誠によって書かれた「菜根譚」を紹介합니다。(サイコンタンと読みます)

菜根譚は一言で言うと、処世術の本です。人生を如何にして生きるかを問うており、人生の岐路に立った時、菜根譚に書かれた言葉は、きっと正しい選択を後押ししてくれるに違いありません。私の心に突き刺さった言葉をいくつか上げてみます。

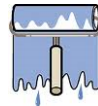
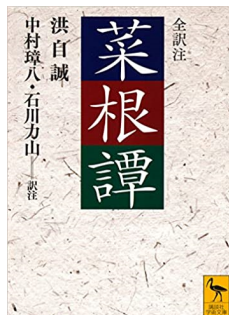
「すべてを自分の責任と考える」

「策略を知っていても使わない」

「与えた恩は忘れ受けた恩は忘れない」

この短い言葉を見ても、なんとなく言わんとする事は想像できると思いますが、本文では物語仕立てですので、ストンと腑に落ちるように理解できます。

マイナーな本ではありますが、是非手に取ってほしい一冊です。



## 塗装屋社長が雨漏りを考える 塗る事よりも大切な事 No.12



今回のテーマは「サイディング壁のコーキング」です。サイディング壁、目地や窓周りのコーキングは、防水上の重要な要素だと考えられています。それは、あながち間違いでありませんが「コーキング＝防水＝雨漏りを止める」このような構図は成り立ちません。

どういう事かと言いますと、雨漏りをするか？しないか？の境界線はサイディング壁の内側の防水紙に不具合があるかという事が全てだからです。

写真・1 のように、サイディング壁の内側に防水シートが張られています。

この通気シートは下側から重ね合わせて張っており、サイディング壁の内側に雨水が浸入したとしても、室内に雨漏りをさせず、外部に雨水を排水させる仕組みになっています。

つまり、雨漏りしない為だけならば、防水紙が正常であるという事だけで十分なのです。

それならば、サイディング壁の目地などにコーキングをする必要なんてないのではないかと考えてしまいそうですが、やはり適切なコーキングは必要なんです。

コーキングの目的は、雨漏りをさせない為ではなく、サイディングを劣化させない為にあります。

サイディングの表面は塗装がされていますので水を吸わない状態ですが、サイディングの目地はサイディング自体の切り口なので、その断面からは水を吸いやすいんです。

写真・2 は目地にコーキングが無い状態で長期間放置してしまっただけで、雨水を吸って劣化、破損してしまっている状態です。

写真・3 のようにコーキングと塗装で修繕をしたとしても、元通りの状態になるわけではなく、補修の跡が見えてしまいます。

もっと酷くなって、サイディングの全面張り替えになったら、大きな費用が掛かってしまうので、早めのメンテナンスが重要ですね。



写真・1



写真・2



写真・3



## 豆知識

### ～サラダ油はサラダ味？～

普段、サラダ油は特に疑問も感じず使っているかと思いますが、サラダ油のサラダって、よくよく考えてみると何の事だか分かりませんか？

答えは、日本に生野菜にドレッシングなどの油をかけて食べる文化が無い頃に、生野菜にあう油を開発して販売したというのが経緯です。

サラダと名前にありますが、原料はレタスやキュウリではなく、トウモロコシや菜種などの穀物から作られています。サラダ油というと、何となく洋食のイメージがありますが、日本発祥の油なんですね。

因みに、お菓子のサラダ味も、サラダの味ではなく、サラダ油の味なんです。昔は高級品だったサラダ油の「サラダ」という名前を使ったのが最初みたいです。



## 現場の本音をぶっちゃけます！

### ～現役職人営業マン

### 田中彪の奔走日記～ 第一回



今回から、このコーナーを担当します、新人営業マン田中です(^◇^)

初回のテーマは「どの時代にもある手抜き施工や悪徳工事」についてです。

率直に手抜き工事って、なぜ起こるのだろうと僕なりに考えました。

1つ目は、悪徳業者が儲かりお客様が工事の内容が金額に見合わず損をする。

2つ目は、業者がしっかりと診断をせずに施工して、適切な工事金額が提示できずに、結果としてお客様が損をする。

弊社では、そんな間違った工事をしない為にも、しっかりと知識を付け、工事前の診断を行っています。

わからない事があったとしても、社内には、塗装工、防水工、板金工、左官工、大工など、各業種のプロフェッショナルな先輩方が揃っていますので、先輩方のサポートもあり適切な診断や工事を行う事が出来ます！

ではまた次号も宜しくお願いします(\*^-^\*)

最新の工事写真を更新しているホームページが大好評です。

過去の施工例も満載！

毎日たくさんのアクセスを

いただいております！

是非ご覧ください

～塗人-てっちゃんこと社長の田中です



マイブームは「進撃の巨人」

## 塗人コラム ☆ペンキ屋社長のお仕事日記☆

### No.43 「空間除菌のすすめ」

人類は世界的に蔓延しているコロナウイルスという見えない敵と日々戦い続けています。

コロナウイルスがどうして怖いのかと考えてみましたが、見えないからと言うのが大きな要因ではないかと思いました。

敵が見えないのであれば、人類側も見えない力で戦おうという事で、超微粒子ミストの空間除菌「バクタクリーン」を紹介致します。

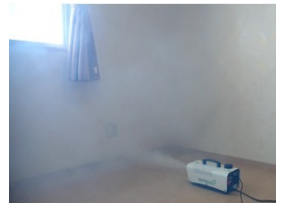
バクタクリーンは植物由来の除菌・抗菌剤で、人体には全く害がないので安心です。

右の画像の様に、オフィス、自宅、乗用車の室内など、どこでも除菌できて、安心で安全な空間を作り出せます。



効果は3ヶ月なので、飲食店などでは、定期的な除菌が必要になるかと思えます。

一般家庭においては、現在の室内が安全であるかどうか不安だ、という声が多く聞かれますので、一度、除菌施工を実施して、その後はご自身でのアルコール消毒などで綺麗な状態を保つ、このような使い方が宜しいかと思えます。



トーシンリフォームはバクタクリーンの正規認定施工店です。弊社としてコロナ蔓延で困窮している日本の為に、何か出来る事はないかと考え、機材を導入しました。

ぶっちゃけた話ですが、除菌・抗菌はビジネスとしては、効率的ではなく、いわゆる儲からない仕事というものです。

トーシンリフォームが、儲からない仕事を、設備投資をしてまで始めたかという、この業務によって、コロナ感染者がほんの少しでも減り、たった一人でも命を救えたならば、そんな素晴らしい事はないと考え新規事業を開始しました。

このニュースレターをお持ちの方限定で、同封のチラシの金額より1万円お値引きして施工させていただきます。

安心、安全のため、ご検討をお願い致します。

最新の工事写真を更新して

いるホームページが大好評です。

過去の施工例も満載！

毎日たくさんのアクセスを

いただいております！

是非ご覧ください

神奈川県知事許可(般-30)第79168号



(株)トーシンリフォーム

相模原市南区下溝2078-9

TEL 0120-775-388

お見積り無料！お気軽にお問い合わせください！